## yz001002 自然 海(海岸地形と海洋生物)



yz001002001) 切り立つ断崖①



yz001002002 切り立つ断崖②



w001002003 メガ崎のタイドプール

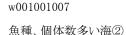


w001002006



貝も大きい

魚種、個体数多い海①



w001002004

浩礁サンゴ

概要 適用

## 【概要】

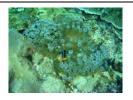
- ・口永良部島の海岸は、ほとんどが自然海岸として残っており、 黒潮の荒波の浸食によって形成された断崖や特徴的な巨岩、海 食洞窟、タイドプールなど変化に富んだ姿をみせる。
- ・沿岸の海域は、透明度が高く、黒潮の影響を受けるため、温 帯性の魚類だけでなく、熱帯性の魚類や造礁サンゴも生息して おり、多様性の高い生物相を形成している。
- ・ 魚類のほとんどが南日本海域に分布する種だが、出現種の約 2割は奄美又は琉球列島に分布する熱帯種も見られる
- ・造礁サンゴについては、平均被度が43.3%(2003年調査)と非常に高い被度を保っており、現在に琉球列島及び大隅諸島において、きわめて健全な状態を維持している貴重な場所になっている。
- ・ウミガメが周辺海域に生息していてよく観察される。

## 【文献・資料】

文献① 霧島屋久国立公園口永良部島マップ(環境省屋久島自然保護官事務所)

## 【写真】

yz001002001)切り立つ断崖①
yz001002002)切り立つ断崖②
yz001002003)メガ埼のタイドプール
vz001002004)造礁サンゴ



yz0010010008



yz001001009



yz001001010

ウミガメ(1)

クマノミ

ヒレナガカンパチ



yz001001011

ウミガメ②

yz001002005)貝も大きい

yz001002006)魚種、数ともに多い豊かな海①

yz001002007)魚種、数ともに多い豊かな海②

yz001002008)クマノミ

yz001002009)ヒレナガカンパチ

yz001002010)ウミガメ①

yz001002011)ウミガメ②